

シリーズ

埼玉の隠れた銘品百選

(58)

西川材オーダーメイド建具(株式会社サカモト)

西川材は、埼玉県が抱く豊かな森林の象徴だ。入間川、高麗川、越辺川^{おっぺ}の流域で育った杉や檜^{ひのき}は、荒川を使って運ばれ、古くから江戸、東京の旺盛な木材需要を満たしてきた。西川材という名は、江戸から見て西の川から運ばれてくる材木という意味であるが、水運の利便性だけでブランドは生まれない。寒暖差の激しい飯能地域の気候と林業家の技術によって、その品質は吉野や秋田などわが国有数の優良材に匹敵するという点が肝心だ。

洗練されたデザインの格子戸、^{かまち}框戸、障子、ドアなどなど。株式会社サカモトの「西川材オーダーメイド建具」は、視覚と嗅覚を通して、いつでも豊かな森林を感じさせてくれる。飯能の原木市場で買い付けられ、製材された西川材が、このみち数十年の名工から気鋭の若手まで合計10人の職人の手によって美しい建具になる。クライアントは林業地にも案内されるため、素材のもとの「顔」や香りを確かめることもできる。

株式会社サカモトは、地元飯能の木工所で職人をしていた初代が1961年に創業。1990年代に後を継いだ坂本勉・現会長は、木製建具の用途を住宅から商業施設、公共施設へと一気に広げた。その長女、坂本幸さんが三代目社長となったのは2023年だが、実のところ、地産の西川材を再発見し、製品価値に結びつける地道な取り組みをしてきたのは幸さんである。飯能の

森を起点に、スタッフ全員が心を一つにして「夢あるもの創り」、「人を中心に考えた空間」、「サーキュラーエコノミー」を探索し続ける。



■ 株式会社サカモト

代表取締役社長 坂本 幸

〒357-0031 飯能市山手町 25-21

<https://eco-sakamoto.co.jp> (武蔵野銀行 飯能支店取引先)



飯能商工会議所棟の組子格子耐力壁

